

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 7 年 2 月 18 日(2025.2.18)

【公開番号】特開 2023-88379(P2023-88379A)
【公開日】令和 5 年 6 月 27 日(2023.6.27)
【年通号数】公開公報(特許)2023-119
【出願番号】特願 2021-203049(P2021-203049)
【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

【手続補正書】

【提出日】令和 7 年 2 月 7 日(2025.2.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

演出を実行可能な演出実行手段を備え、

前記有利状態に制御された後に、通常状態よりも前記有利状態に制御されやすい特別状態に制御可能であり、

前記有利状態は、前記有利状態に制御された後、前記特別状態に制御される第 1 有利状態と、前記有利状態に制御された後、前記特別状態に制御されない第 2 有利状態と、を含み、

30

前記演出実行手段は、

前記特別状態において、第 1 演出を実行可能であり、

前記特別状態において、前記第 1 演出が実行される場合よりも前記第 1 有利状態に制御される期待度が高い第 2 演出を実行可能であり、

前記第 1 有利状態中において、通常パターンと、該通常パターンとは異なるパターンであって前記特別状態に制御されない旨を一旦報知した後、該特別状態に制御される旨を報知する救済パターンと、のいずれかのパターンで、該第 1 有利状態の終了後に、該特別状態に制御される旨の報知を行う演出を実行可能であり、

前記第 2 有利状態中において、該第 2 有利状態の終了後に、前記特別状態に制御されない旨の報知を行う演出を実行可能であり、

40

前記第 1 有利状態に制御されることが決定され前記第 1 演出を経由した後に、前記通常パターンにおいて前記特別状態に制御される旨の報知を行う報知演出を実行可能であり、

前記報知演出は前記第 2 演出よりも実行割合が高く、

前記第 1 有利状態に制御されることが決定され前記第 1 演出を経由した場合の方が、該第 1 有利状態に制御されることが決定され前記第 2 演出を経由した場合よりも該第 1 有利状態中の前記救済パターンの実行割合が高く、

前記第 1 演出と前記第 2 演出との実行期間は少なくとも第 1 期間と該第 1 期間の後に実行される第 2 期間と、該第 2 期間の後に実行される第 3 期間とを含み、

前記実行期間において前記第 1 演出と前記第 2 演出とは一部が共通の態様にて表示可能

50

である、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００６

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００６】

（Ａ）遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

演出を実行可能な演出実行手段を備え、

前記有利状態に制御された後に、通常状態よりも前記有利状態に制御されやすい特別状態に制御可能であり、

前記有利状態は、前記有利状態に制御された後、前記特別状態に制御される第１有利状態と、前記有利状態に制御された後、前記特別状態に制御されない第２有利状態と、を含み、

前記演出実行手段は、

前記特別状態において、第１演出を実行可能であり、

前記特別状態において、前記第１演出が実行される場合よりも前記第１有利状態に制御される期待度が高い第２演出を実行可能であり、

前記第１有利状態中において、通常パターンと、該通常パターンとは異なるパターンであって前記特別状態に制御されない旨を一旦報知した後、該特別状態に制御される旨を報知する救済パターンと、のいずれかのパターンで、該第１有利状態の終了後に、該特別状態に制御される旨の報知を行う演出を実行可能であり、

前記第２有利状態中において、該第２有利状態の終了後に、前記特別状態に制御されない旨の報知を行う演出を実行可能であり、

前記第１有利状態に制御されることが決定され前記第１演出を経由した後に、前記通常パターンにおいて前記特別状態に制御される旨の報知を行う報知演出を実行可能であり

、

前記報知演出は前記第２演出よりも実行割合が高く、

前記第１有利状態に制御されることが決定され前記第１演出を経由した場合の方が、該第１有利状態に制御されることが決定され前記第２演出を経由した場合よりも該第１有利状態中の前記救済パターンの実行割合が高く、

前記第１演出と前記第２演出との実行期間は少なくとも第１期間と該第１期間の後に実行される第２期間と、該第２期間の後に実行される第３期間とを含み、

前記実行期間において前記第１演出と前記第２演出とは一部が共通の態様にて表示可能である、

ことを特徴とする。

10

20

30

40

50